

令和7年度第3回霞ヶ浦自然観察会実施結果

日 時：令和7年7月19日（土）9時～10時40分、11時～12時40分の2回

テーマ：夏休みだ 夏の昆虫大集合！

場 所：茨城県霞ヶ浦環境科学センター野外施設（いきもののにわ周辺）

講 師：久松正樹先生（ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主査）

内 容：

夏休みで多くの昆虫が活動する時期に、子どもたちを中心に、霞ヶ浦環境科学センター野外施設で昆虫採集の体験をします。そして、身近なところでさまざまな昆虫が生活していることを学びます。さらに、小さな命の尊さや自然の大切さを考える機会とします。

参加者：48名（子ども23名、大人25名）

1回目 24名（子ども12名、大人12名）

2回目 24名（子ども11名、大人13名）

担当職員：5名

パートナー：6名

結 果：

この観察会では、センター敷地内のいきもののにわ周辺で、捕虫網を使って昆虫を採集し観察しました。

採集の前に、講師の久松先生から、捕虫網による昆虫の捕り方、三角紙や毒ビンなど昆虫採集に使う用具の説明、ハチに刺されたときに使うポイズンリムーバーの使い方などを説明していただきました。

いよいよ採集と観察です。センターの敷地をほぼ一周しながら、昆虫のいそうな場所で実際に昆虫を探して観察・採集しました。観察の始めは、センターの建物の横の北池です。池とその周辺では、アメンボ類、ショウジョウトンボ、オオシオカラトンボとシオカラトンボの違い、アオモンイトトンボなどのイトトンボ類、足元のデッキの上を歩くクロオオアリなどのアリ類を観察しました。いきなり身近なところにいろいろな昆虫がいます。耳をすます

とセミの鳴き声がします。この季節はニイニイゼミです。また、センターの敷地内には比較的珍しいキリギリスがよく鳴きます。姿は見なくても、鳴き声を聞くことも観察です。

クヌギの樹液が出ているところでは、コクワガタ、ノコギリクワガタ、カブトムシやカナブンなど甲虫が集まっています。樹液にはチョウ類も集まりますが、最近よく見かけるアカボシゴマダラは特定外来生物であることを教えてもらいました。さらに、ネムノキの樹液のところで、珍しいヒメウマノオバチを観察しました。久松先生が毒ビンを使って採集するところを見せてくれました。センターではタマムシをよく見かけますが、今回はエノキの周辺でタマムシとその仲間ウバタマムシを見ることができました。

野外での観察、採集を終わりにして、屋内に戻り、さらに詳しい観察を行いました。どんな昆虫が採集できたか、みんなで発表しました。そして、それぞれの昆虫について久松先生に解説していただきました。

最後に、今日観察できた項目について、昆虫ビンゴ（下に示す）を使ってゲーム感覚でまとめをしました。

また、今回は、現在開催中の特別展示「すごいぞハチの巣」のスペシャル解説をしていただきました。この展示は、ミュージアムパーク茨城県自然博物館で久松先生にお世話になって借用した標本を展示しています。主に、スズメバチ、アシナガバチ、ドロバチの仲間の標本です。解説の後、竹筒につくられたオオフタオビドロバチの巣を解体し、その生態を解説していただきました。

1回目、2回目とハチの巣にスペシャル解説まで、暑い中、長時間にわたりご指導いただいた久松先生、本当にありがとうございました。

観察・採集できた主な昆虫を示します。

アメンボ類、アリ類、ニイニイゼミ（鳴き声）、アブラゼミ（抜け殻）、キリギリス（鳴き声）、ショウリョウバッタ、ツユムシ、イナゴ、コオロギ類（幼虫）、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、アオモンイトトンボ、アカボシゴマダラ（特定外来生物）、キタテハ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、コムスジ、モンシロチョウ、

モンキチョウ、キチョウ、アオスジアゲハ、オオミズアオ、コクワガタ、ノコギリクワガタ、カブトムシ、コガネムシの仲間、カナブン、ハナムグリ、ウバタマムシ、タマムシ、ヨツボシオオキスイ、ゴマダラカミキリ、ヒメウマノオバチ、カバオビドロバチ、セグロアシナガバチ、ヒメハラナガツチバチ

昆虫ビンゴ

霞ヶ浦環境科学センター・バージョン

カードに書いてあることができれば、色をぬろう！ いくつビンゴができるかな？

名前：

モンシロチョウや シジミチョウなど 小さなチョウを見た	アリの背中を さわった	カブトムシや カナブンなど 甲虫を見た	虫の死骸を 見た	キリギリスや コオロギの 鳴き声をきいた
バッタや キリギリスを つかまえた	ギンヤンマなど 大きなトンボを見た	先生の名前を おぼえた	セミの鳴き声を きいた	イモムシやケムシなど 幼虫を見た
赤や茶色の チョウを見た	ハチを 見た	フリー		セミを見た
チョウを つかまえた	アゲハチョウなど 大きなチョウを見た	トンボを つかまえた	シオカラトンボの オスとメスを 見た	カに さされそうになった
樹液に集まる 昆虫を見た	池のアメンボを 見た	クモまたはクモの巣を 見た	セミの抜け殻を みつけた	樹液のにおいを かいた

第3回霞ヶ浦自然観察会（その1）



まず、採集用具の説明、



ハチに刺されたときのポイズンリムーバー



いよいよ昆虫採集に出発、五感を使って観察



昆虫採集真っ最中



虫網で捕れた虫をふきながしに移す



セミの抜け殻も観察した



クヌギの樹液に集まるカナブン



ノコギリクワガタも観察できた

第3回霞ヶ浦自然観察会（その2）



毒ビンでヒメウマノヲバチを採集する



採集したヒメウマノオバチ



特定外来生物指定種アカボシゴマダラ、上はタマムシ



室内に戻って、採集した昆虫の報告会



ウバタムシが捕れた



最後に昆虫ビンゴで観察のまとめをする



特別展示「すごいぞハチの巣」のスペシャル解説



竹筒につくったドロバチの巣の解体